
クローバー10
携帯型拡大読書器
取扱説明書

Rev E (201706)

目次

はじめに	5
安全上のご注意	7
安全にお使いいただくために	11
各部の名称	14
付属品.....	17
充電の方法.....	18
電源ランプの表示.....	19
スタンド.....	20
使用法	23
電源ボタン.....	23

電子音のオン/オフ.....	24
電子音の種類.....	25
カメラモードの切替.....	25
拡大と縮小.....	27
画像のスクロール.....	28
カラーモード.....	31
明るさ.....	35
ライト.....	36
画像の静止.....	37
画像の保存.....	39
画像の再生.....	40

ラインとマスク.....	43
位置表示.....	46
メモリ機能.....	47
周波数(50Hz/60Hz)切替機能.....	48
省電力機能.....	48
初期設定へ戻す.....	49
本体のリセット.....	50
故障かな？と思ったら	51
製品仕様	54
お客様相談室	55

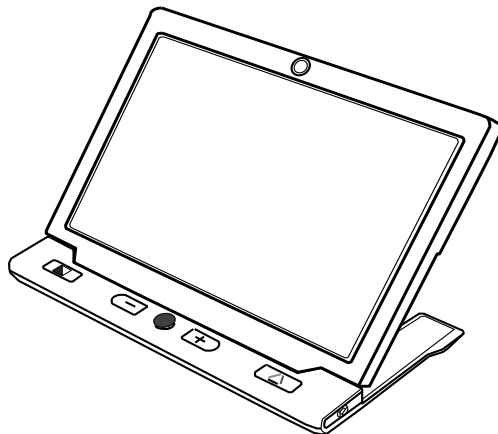
はじめに

クローバー10をお買い上げいただき、ありがとうございます。

クローバー10は、10インチの大型ワイドLCDモニターとフルHD(高細密)カメラを装備した、非常に軽い携帯型拡大読書器です。2.7～17倍までの連続ズームが可能で、様々な拡大レベル、カラーモードで、鮮明な画像をお楽しみいただけます。

デュアル(前面と背面)カメラシステム内蔵で、3つのカメラモードの選択ができます。本や新聞を読むための読書モード、ポスターや黒板を見るための望遠モード、おしゃれのためのミラーモードがあります。

一般的な拡大/縮小やカラーモード切替の他に、読書用ライン(横ラインと縦ライン)やマスク(横マスクのみ)、画像の静止や保存、位置表示、スクロール機能などもあり、快適に読書ができます。



安全上のご注意

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「取扱説明書」の表示では、本装置を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよくご理解いただてから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。







注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	<p>名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：装置を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：分解禁止 意味：装置を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。</p>
	<p>名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。</p>
	<p>名称：電源プラグをコンセントから抜く 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。</p>

 警告	
	<p>万一、装置から煙がでていたり、異臭や異音があるなど、異常状態の場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。煙などがなくなるのを確認したのち、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置の内部に水、金属類などの異物が入ってしまった場合は、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せずただちに販売店に連絡して下さい。</p>
	<p>万一、装置を落としたり、カバーなどを破損した場合には、すぐに装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。火災や感電の原因となります。そのまま使用せず、ただちに販売店に連絡して下さい。</p>



警告



装置から液体が漏れ出している場合は、装置に触れない。失明や火傷などの事故の原因となります。特に、液体が目に入ってしまった場合は多量の水で水道水でただちに患部を洗浄し、至急医師の診断を受けて下さい。

また、液体に触れた場合や液体が染みた衣服などに触れた場合でも水道水でただちに洗浄し、医師の診断を受けて下さい。なお、これに併せてただちに販売店に連絡して下さい。



引火性のガスや発火性の物質がある場所では使用しない。火災、爆発の原因となります。



装置のカバー、キャビネットを外さない。感電の原因となります。
内部の点検、整備や修理は販売店にご依頼下さい。



装置を分解、改造しない。火災や感電の原因となります。



表示された電源電圧で使用する。火災や感電の原因となります。



警告



風呂場、雨や雪が降っている屋外、その他水がかかるところ、湿気の多いところでは使用しない。感電の原因となります。



露の付いた状態で使用しない。感電の原因となります。



ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを装置の下敷きにしない。ケーブルが傷ついて火災や感電の原因となります。



ケーブルが痛んだら（芯線の露出、断線など）、すぐに使用を止め、販売店に交換を依頼する。火災や感電の原因となります。



ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、折り曲げたりしない。火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、装置や接続されたケーブルなどに触れない。感電の原因となります。



注意



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となる場合があります。



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う。感電の原因となる場合があります。



装置を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



ケーブルを着脱するときは、プラグ部分を持って行う。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



ほこりの多い場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。
電源プラグや接続部にほこりが付着している場合は取り除いて使用して下さい。



注意



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所で使用しない。火災や感電の原因となる場合があります。



濡れた手でACアダプタ、電源プラグやケーブルを抜き差ししない。感電の原因となる場合があります。

安全にお使いいただくために



クローバー10 を初めてお使いになる前に、バッテリーを充電してください。詳細につきましては、「充電の方法」をご参照ください。



必ず、摂氏 10～35°C の環境でご使用ください。



本体を、濡れた場所、雨、その他の液体から離してご使用ください。また、水の中に入れてください。



自分で修理しないでください。権限なしに修理を行うと、製品保証が適用されなくなります。修理の際は販売元または販売店へご連絡ください。



充電するときには、必ず、付属の AC アダプターをご使用ください。

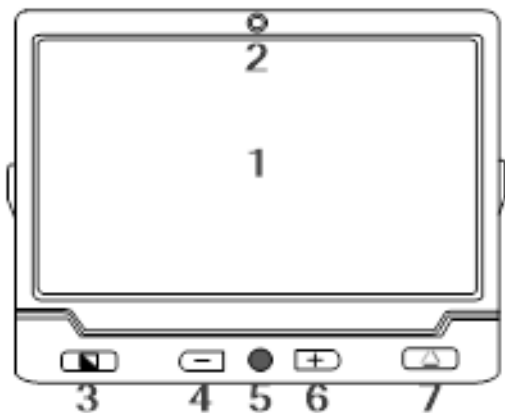
液晶モニターに関するご注意

液晶モニターは、衝撃、圧迫、落下などで強い力が加わると割れることがあります。取り扱いには十分注意してください。

なお、上記の原因による割れやキズは、保証期間中でも有償修理となります。

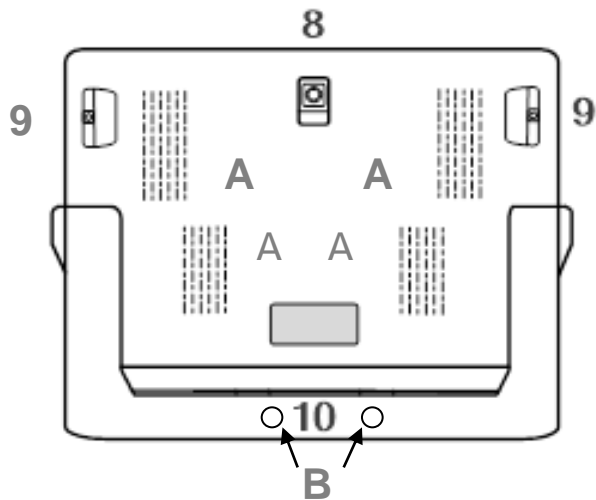
また、液晶モニターが割れた場合は、モニター部や内部から漏れた液体には絶対に触らないでください。

各部の名称



1. 液晶モニター
2. 前面カメラ
3. ハイコントラストモードボタン
4. 縮小ボタン
5. 操作レバー
6. 拡大ボタン
7. フルカラーボタン

※操作レバーは、機能上、隙間が大きく開いています。液体の侵入や、ゴミ、埃などが詰まると故障の原因になりますので、注意してください。



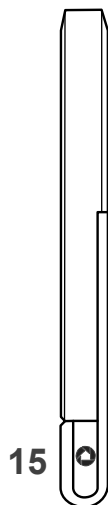
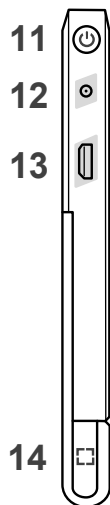
A. 通気口（塞がないこと。内部温度が上昇し、故障の原因になります。）

B. オートフォーカスセンサー（スタンドに埋め込まれている部品はオートフォーカス(AF)センサーです。センサーを覆ってしまわないように注意してください。）

8. 背面カメラ

9. LED ライト

10. スタンド



11. 電源ボタン(電源ランプ) 12. ACアダプター接続口

13. HDMI 端子※ 14. ライン/マスクボタン

15. 静止画シャッター
ボタン 16. カメラモード切替
スイッチ

17. USB 端子
(メンテナンス専用)

A: 通気口 (塞がないこと。
内部温度が上昇し、故障
の原因になります)

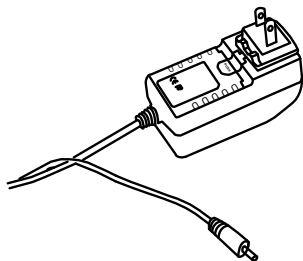


※接続するモニターにより、本機からの映像信号が認識されず、モニター側で画像が表示されない場合や、正常に表示されない場合があります。

付属品



取扱説明書



AC アダプター



専用ケース



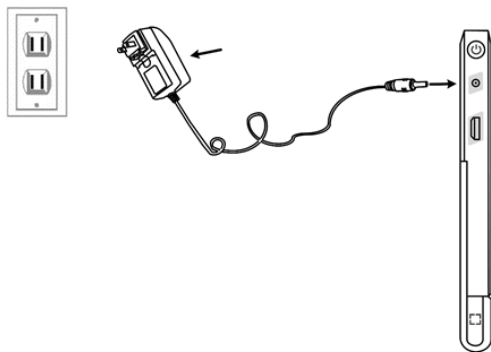
クリーニングクロス

製品保証書

ユーザー登録用紙

充電の方法

1. 付属の AC アダプターのケーブルを本体の AC アダプター接続口に接続してください。
2. AC アダプターをコンセントへ差し込むと、充電が始まります。



電源ランプの表示

- 電源がオフの状態で充電すると、電源ランプが緑色に点灯します。充電が完了すると、電源ランプが自動的に消灯します。
- フル充電には、約5時間かかります。連続使用時間は、約3時間です。
- 本体がオンの状態でも充電すると、電源ランプが緑色に点灯します。
- 本体の充電をしない状態でオンにした時、バッテリーの残量が十分ある時は緑色に点灯し、残量が少なくなると赤色に変わります。電源ランプが赤色に点滅、及びバッテリー残量マークが点灯しはじめたら、充電してください。

-
- バッテリーの残量は、電源ボタンを押すことでも確認することができます。

※バッテリーの残量が少なくなると、バッテリーを多く使用する機能（画像の保存など）が使用できなくなることがあります。

バッテリーの残量表示が0に近づくと、電源ランプが点滅し続け、バッテリー残量表示も表示されたままになります。

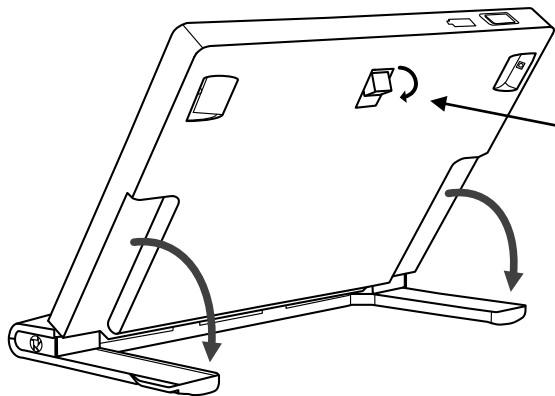
スタンド

次の図のようにスタンドを立ててください。人間工学に基づいた角度で、長時間の読書が快適にできます。また、カメラの下に十分なスペースがあり、筆記も容易にできます。

背面カメラは、スタンドの状態によって自動的に回転します。これにより、読書モードと望遠モードでのご使用が可能です。

スタンドを立てる・・・読書モード




スタンドを閉じる・・・望遠モード



背面カメラ
※強く触らないように
注意してください。



使用法

電源ボタン

- 電源をオンにするには、電源ボタン  を 5～6 秒間長押ししてください。（画面の中央にロゴマークが出るまで押ししてください。）
※電源が立ち上がる時に本体から少し音がしますが、故障ではありません。電源をオフにするには、電源ボタン  を約 3 秒間長押ししてください。
- バッテリーの残量、静止画シャッターの状態、カメラの状態、電子音の状態を確認するには、本体がオンの状態で、電源ボタン  を短く押ししてください。状態を表す 4 種類のマークが表示され、約 1 秒後に自動的に消えます。

※使用中は、本体の左側が熱くなることがありますが、これはバッテリーの発熱によるもので、異常ではありません。


電子音のオン/オフ

- 電子音をオンまたはオフに切り替えるときは、電源ボタン  を押した状態でフルカラーボタン  を押ししてください。電子音がオンまたはオフに設定されたマークが表示され、約 1 秒後に消えます。


電子音の種類

- 本体の電源をオン/オフしたときの音
- ボタン操作の音
- 限界であることの音
- バッテリー残量の警告音

カメラモードの切替

- 読書モードまたは望遠モードで使用するときは、カメラモード切替スイッチ  が左になっていることを確認してください。左になっていなければ、左にスライドさせてください。モードを表すマーク

が表示され、約 1 秒後に消えます。スタンドを立てたときは読書モード、閉じたときは望遠モードになります。

- ミラーモードで使用するときは、カメラモード切替スイッチ  を右にスライドさせてください。モードを表すマークが表示され、約 1 秒後に消えます。

読書モードでは、約 7cm～約 1m まで焦点が合います。

望遠モードでは、約 7cm～約 10m まで焦点が合います。

ミラーモードでは、約 7cm～約 2m まで焦点が合います。


拡大と縮小






- 拡大するには、拡大ボタン「十」を押してください。拡大レベルバーが表示され、画像が拡大します。拡大レベルバーは約 3 秒後に消えます。拡大ボタン「十」を押し続けると、連続して拡大します。
- 縮小するには、縮小ボタン「一」を押してください。拡大レベルバーが表示され、画像が縮小します。拡大レベルバーは約 3 秒後に消えます。縮小ボタン「一」を押し続けると、連続して縮小します。


※画像の静止、または画像の再生時は、拡大・縮小しても拡大レベルバーは表示されません。


-
- スタンドを使用時の拡大倍率:
背面カメラ: 約 2.7～約 17 倍
(本体を被写体から離れた場合は、さらに低倍率表示が可能です。)

画像のスクロール

- 画像を拡大表示しているとき、本体を動かさず、操作レバー  を使用して、画像を上下左右にスクロール(上下左右へ移動)することができます。但し、ライン/マスクを使用している場合は、スクロールできません。

-
- 拡大ボタン「+」と縮小ボタン「-」を同時に押すと、スクロールされた画像が元の中央の画像表示に戻ります。
※2つのボタンを押すタイミングが少しずれると、拡大レベルバーが表示される時があります。
 - 画像をスクロールしているとき、電源ボタンを押しながら操作レバーを上下左右に動かすと、読み始め、または、読み終わりの場所へ瞬時に移動します。例えば、横書きの文章の1行を読み終えて、次の行を読みたいときは、電源ボタンを押しながら操作レバーを左に動かすと、行の先頭へ瞬時に移動でき、すぐに次の行を読むことができます。また、縦書きの文章の1行を読み終えて、次の行を読みたいときは、電源ボタンを押しながら
-


から操作レバー  を上に動かすと、行の先頭へ瞬時に移動できます。

※この機能を使用するときは、まず、読みたい場所の先頭から終わりまで、操作レバー  を上、下、左、右に動かしてスクロールさせてください。行の先頭や終わりが自動的に設定されます。設定した位置へ移動すると、赤い四角いマークが表示されます。（先頭だけを設定して使用することもできます。）

スクロール範囲を設定後、スクロール範囲を広くしたいときは、広範囲にスクロールさせると自動的に広く設定されますが、スクロール範囲を狭くしたいときは、再度、範囲設定しなおす必要があります。再設定するときは、まず、拡大ボタン「十」と縮小ボタン




「一」を同時に押して、元の中央の画像表示に戻してください。その後、スクロール範囲を設定してください。

※以下の操作を行うと範囲設定が解除されるので、再設定をしてください。

- ・静止画シャッターボタン  を押す。
- ・表示倍率を変更する。

カラーモード

フルカラーでは写真や地図を見るときに適しています。ハイコントラストモードは、前景と背景をそれぞれ際立たせ、文字を鮮明に読むことができます。

-
- ハイコントラストモードボタンを押すと、ハイコントラストモードが順に表示されます。
 - フルカラーボタンを押すと、フルカラーになります。
 - ハイコントラストモードの状態では、ハイコントラストモードボタンを約 3 秒間長押しすると、標準ハイコントラストモードと拡張ハイコントラストモードを切り替えできます。(電子音がオンの時は、音が 1 回なります。) もう一度同じ操作をすると、標準ハイコントラストモードに戻ります。
標準ハイコントラストモードが初期設定になっています。

標準ハイコントラストモード一覧(5種類のモード)

- ☑ 黒背景に白文字
- ☑ 黒背景に黄文字
- ☑ 青背景に黄文字
- ☑ 白背景に黒文字
- ☑ 青背景に白文字



拡張ハイコントラストモード一覧(18種類のモード)


- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に白文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 白背景に黒文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に黄文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 黄背景に黒文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 青背景に白文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 白背景に青文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 青背景に黄文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 黄背景に青文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に緑文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 緑背景に黒文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に紫文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 紫背景に黒文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に青文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 青背景に黒文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 緑背景に白文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 白背景に緑文字 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 赤背景に白文字 | <input checked="" type="checkbox"/> 黒背景に赤文字 |

明るさ




フルカラーでもハイコントラストモードでも明るさを調整することができます。


以下の操作をすると画面中央に青色または緑色の明るさ表示バーが表示されます。緑色が初期設定の明るさです。

- 明るくするには、電源ボタン  を押しながら拡大ボタン「+」を押してください。
- 暗くするには、電源ボタン  を押しながら縮小ボタン「-」を押してください。
- 明るさ表示バーは、操作終了後、約 1 秒後に消えます。

-
- 電源ボタン  を押してから約 3 秒以内に拡大ボタン「+」または縮小ボタン「-」の操作をしないと、電源が切れます。

ライト

- 電源ボタン  を押しながら静止画シャッターボタン  を 1 度押すと、LED ライトを消灯、または、点灯することができます。
携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの画面を見るときは、消灯させるほうが見やすくなります。状況に応じて設定してください。
- もう一度同じ操作をすると、ライトが点灯、または、消灯します。
- 電源ボタン  を押してから約3秒以内に静止画シャッターボタン



 の操作をしないと、電源が切れます。


- 電源を一度切ってから電源を入れ直すとライトの設定はリセットされます。


※望遠モードにすると、ライトは自動的に消えます。上記の操作でライトを点灯することもできます。

画像の静止

じっくり見たいときには、画像を静止させることができます。静止画は、読みやすいように拡大、縮小、カラーモードの変更ができます。

-
- 静止画シャッターボタン  を押すと、映像が静止し、鍵のかかったマークが表示され、約 1 秒後に消えます。
※静止画シャッターボタン  を操作する場合は、本体が動きますので、左手で軽く本体を押さえて操作してください。


 - 静止画状態を解除するには、静止画シャッターボタン  をもう一度押してください。解除された鍵のマークが表示され、約 1 秒後に消えます。

 - 画像を拡大表示しているとき、本体を動かさず、操作レバー  を使用して、画像を左右、上下にスクロールすることができます。
※スクロールの使用につきましては、「画像のスクロール」の章をご参照ください。
-

-
- 画像を最大まで拡大して静止させると、さらに拡大して表示できません。

※画像の静止時には、ライン・マスクは使用できません。

画像の保存


- 表示されている画像を保存するには、静止画シャッターボタン  を約3秒間長押ししてください。画像を保存したマークが表示され、約4秒後に消えます。画像は、18枚まで保存できます。
- 特記: 保存した画像が18枚になったら、これ以上保存できないマークが表示され、約1秒後に消えます。再生モードで保存した




画像を削除してから、新しい画像を保存してください。（保存した画像の削除方法については、「画像の再生」をご参照ください。）

保存した画像データの消失について

取扱上の不備や本機の故障、あるいは修理によって、保存された画像データが消失することがあります。保存された画像データの消失による損害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。


画像の再生

- フルカラーボタン  を 3 秒間長押しすると、再生モードに入ります。


-
- 操作レバー  を使って、保存した画像から再生したい画像を選択してください。(一度に9枚までの画像が表示されます。10枚以上の画像は次のページに表示されます。)フルカラーボタン  を押すと、選択した画像が表示されます。「画像の静止」の章にある同じ機能(拡大、縮小、カラーモードの変更、拡大表示中のスクロール)を使って画像を表示することができます。静止画シャッターボタン  を押すと、保存した画像を選択する画面に戻ります。


※画像の再生時には、ライン/マスクを使用できません。

-
- 画像を削除するには、保存した画像を選択する画面を表示し、ライン/マスクボタン〔 〕で、削除したい画像を選択してください。選択した画像上にごみ箱マークが表示されます。もう一度、ライン/マスクボタン〔 〕を押すと画像が削除されます。別のボタンを押すと削除はキャンセルされ、ごみ箱マークが消えます。
 - すべての画像を削除するには、保存した画像を選択する画面を表示し、ライン/マスクボタン〔 〕を約 2 秒間、長押ししてください。画面の真ん中に大きなごみ箱マークが表示されます。もう一度、ライン/マスクボタン〔 〕を押すとすべての画像が削除されます。らライン/マスクボタン以外のボタンを押すと削除はキャンセルされ、ごみ箱マークが消えます。


-
- 再生モードを終了するには、フルカラーボタンを3秒間、長押ししてください。


ラインとマスク


ライン/マスクボタンを押すと、読書用のラインモードやマスクモードに切り替わります。ボタンを押すごとに、以下の順序で切り替わります。



※ライン/マスクボタンを操作する場合は、本体が動きますので、右手で軽く本体を押さえて操作してください。


-
- 横ライン
 - 縦ライン
 - 横マスク
 - 通常表示(ラインやマスクなし)

□ 操作レバー  を使って、読書用ラインやマスクの位置を変更してください。

横ライン・・・操作レバー  の上下の操作で、ラインが移動できます。

縦ライン・・・操作レバー  の左右の操作で、ラインが移動できます。

横マスク・・・操作レバー  の上下の操作で、マスクが移動できます。操作レバー  の左右の操作で、マスクの幅が移動できます。

- 電源ボタン  を軽く押すと、ラインやマスクが消え、通常表示モードに戻ります。

※ラインやマスク使用時は、画像のスクロール、画像の静止はできません。

位置表示

- ライン/マスクボタン〔 〕を約 2 秒間、長押しすると、画像は現在の倍率から最少の倍率になり、拡大された画像の位置を表す位置ボックスが表示されます。
- ライン/マスクボタン〔 〕を押した状態で、拡大表示したい場所が位置ボックスの中に表示されるように動かしてから、ライン/マスクボタン〔 〕を離します。選択した場所の画像が、以前の倍率で表示されます。

たとえば、ある倍率で地図を見ているとき、同じ倍率で別の所を見たいときに便利な機能です。

※通常表示中に画像をスクロールした後で位置表示機能を使用すると、スクロールする前の位置を表示します。



※画像の静止、および画像の再生時には、位置表示機能は使用できません。

メモリ機能

通常操作で電源が切られた場合、使用モード、拡大倍率、電子音などの直近の設定を自動的に記憶し、次に電源を入れた時に同じ設定を保持しています。





周波数(50Hz/60Hz)切替機能

電燈の下で使用する際に、お使いになられる地域の電力環境により、画面上にちらつきやゆらめきが見えることがあります。ちらつきやゆらめきが気になる場合は、周波数の設定を切り替えることで軽減できることがあります。



電源ボタン  とハイコントラストモードボタン  を約 5 秒間長押しすると、周波数が切り替わり、周波数の数値が画面に表示されます。

省電力機能

- 約 3 分間操作が何も行われず、本体も動かされない場合、節電するために自動的に電源が切れます(初期設定)。省電力機能




をオフにするには、電源ボタンを押した状態でハイコントラストモードボタンを軽く押してください。省電力機能がオフに設定されたマークが表示されます。もう一度、電源ボタンを押した状態でハイコントラストモードボタンを軽く押すと、省電力機能がオンに設定されたマークが表示されます。

初期設定へ戻す

電源が入っている状態で、静止画シャッターボタンとライン/マスクボタンを同時に電源が切れるまで(約 4 秒間)長押しすると、再度電源を入れたときに初期設定に戻っています。

初期設定は、倍率:最小、使用モード:フルカラー、明るさ:最大、電子音:オン、ハイコントラストモード:標準ハイコントラストモード、周波数: 60Hz、省電力機能:オンです。

本体のリセット

本体が、動作不能や通常終了できない状態になったときには、電源ボタンと静止画シャッターボタンとフルカラーボタンを同時に押してください。電源が切れ、本体がリセットされ、設定は初期設定に戻ります。

初期設定は、倍率:最小、使用モード:フルカラー、明るさ:最大、電子音:オン、ハイコントラストモード:標準ハイコントラストモード、周波数: 60Hz、省電力機能:オンです。

故障かな？と思ったら

電源が入らない



- AC アダプターを接続してください。
- バッテリーを充電してください。
- 本体をリセットしてください。

画面が黒い、または、白い

- 本体が平らな表面に置かれている場合、画面が黒または白になる場合があります。そのときは、本体を持ち上げて、画面が変わるかどうか確認してください。
- 拡大レベルを調節してください。

-
- 使用モードを調節してください。
 - 本体を再起動してください。
 - 本体をリセットしてください。

画像が変わらない

- 本体が画像の静止、または、画像の再生になっている場合、画像は変わりません。画像の静止を解除するには、静止画シャッターボタン  を押してください。画像の再生を終了するには、フルカラーボタン  を約3秒間、長押ししてください。
- 本体を再起動してください。
- 本体をリセットしてください。

画面にしみやごみのようなものが映る

- 明るさを調節してください。
- 液晶モニターとカメラをクリーニングクロスで拭いてください。

問題が解決しない場合は、お近くの販売店または販売元に、ご相談ください。

製品仕様

- **モニター:** 10 インチ LCD、HD / 解像度:1280 x 800 ピクセル
- **カメラ**
(前面/背面): オートフォーカス、フル HD
画素数:1200 万画素 / 解像度:1920 x 1080 ピクセル
- **寸法:** 約 251 x 203 x 22 mm
- **重さ:** 約 680 g
- **カラーモード:** フルカラーモード、5 種類の標準ハイコントラストモード、18 種類の拡張ハイコントラストモード
- **倍率:** 約 2.7~約 17 倍
- **バッテリー:** 連続使用時間: 約 3 時間(画面の明るさ設定や気温などにより異なります)
(リチウムイオン) 充電時間: 約 5 時間(フル充電まで)
- **AC アダプター:** 入力: 110-240V、出力: 5V/3A

仕様は予告なく変更します

お客様相談室

フリーダイヤル： 0120-886-610

受付時間： 平日 9:00～12:00
13:00～17:30（土曜・日曜・祝日は休み）

製造元： VisuaLink Technology Limited

輸入販売元： 株式会社 タイムズコーポレーション

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 1-6-11

TEL： 0797-74-2206 FAX： 0797-73-8894

URL： <http://www.times.ne.jp>

E-Mail： info@times.ne.jp